

2025年7月10日
株式会社ベクトル

AIタレント動画生成サービス「AvaMo」 「AIタレント運用型広告」提供開始 動画広告のPDCAを最速で回す新たな広告運用を実現

株式会社ベクトル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長CEO：西江 肇司、東証プライム：6058、以下ベクトル）の子会社である株式会社オフショアカンパニー（本社：東京都港区、代表取締役：野呂 健太、以下オフショアカンパニー）は、日本初¹のAIタレント動画生成サービス「AvaMo（アバモ）」において、従来のタレントを用いた動画広告の制作プロセスを根底から覆す、「AIタレント運用型広告」の提供を開始することをお知らせいたします。これにより、日本国内において、新たに「AIタレント運用型広告²」という市場が誕生いたします。



従来の広告制作は、企画・キャスティング・撮影・編集・納品・効果検証といった工程が分断され、クリエイティブの改善には多大なコストと時間がかかる非効率な構造にありました。「AvaMo」は、“AIタレント”を用いて動画広告のPDCAを高速で回せる、全く新しい広告運用モデルを実現いたします。

¹ 2025年4月時点、当社調べ。主要動画生成AIサービス10社を対象（当社選定）におけるWeb調査に基づき、日本語UI・日本人アバター・日本語音声にすべて対応した商用動画生成サービスは当社が初。

² 「AIタレント運用型広告」とは、AIタレントを活用し、広告主企業自らが台本作成・編集・動画生成までを自ら完結できる広告制作手法を指します。特徴は、AIタレントを活用することで、撮影や日程調整といった従来の動画制作に伴う煩雑なプロセスを排除しつつ、スピーディに複数の動画パターンを自社内で生成できる点にあります。AIタレント生成でのみならず、“AIタレント動画を広告主が自ら生成できる”という制作主体の転換を両立した仕組みであり、国内主要AIサービスにおいて同様のモデルを体系化して提供している事例は2025年7月時点では確認されていません（当社調べ）。

■ 広告市場の背景：動画クリエイティブも運用型の時代へ

2024年の日本国内動画広告市場は前年比23%増の8,439億円に達し、インターネット広告費全体の28.5%を占めるまでに成長しています³。特にスマートフォン向けの縦型動画広告が急増しており、TikTokやInstagramリールなどを中心としたモバイル動画市場は、2029年までにモバイル経由での広告収益が83%に達すると見込まれています⁴。しかし、マーケティング専門サイトによる視聴者の約65%が広告開始3秒以内にスキップを判断している⁵現状において、従来型のタレントを用いた広告制作フローでは改善に数週間～数ヶ月を要し、高速PDCAが求められる市場のニーズに応えできていません。

■ 新たな市場を創出する「AIタレント運用型広告」とは

「AvaMo」は、人物の表情や動きをリアルに再現するAIタレント、用途別に整理されたテンプレート、テキストから瞬時にナレーションを生成するTTS機能により、動画制作に不慣れなユーザーでも制作期間と費用を最大98%削減⁶し、大幅な業務効率化を実現しています。この「AvaMo」の機能を活用した「AIタレント運用型広告」は、広告主企業がAIタレントを、自由に自社の広告素材として活用できるサービスです。セリフや表情を台本から自動生成し、従来の動画広告制作のように撮影や外注を必要とせず、広告主企業自ら、数時間以内に複数の動画を完成させることができます。さらに、完成した複数の動画を瞬時に配信し、そのパフォーマンスを分析しながら改善を重ねることで、従来の広告運用に比べ、圧倒的なスピードでクリエイティブの最適化が可能になります。また、「AvaMo」で使用されるAIタレントも当社が自社開発・管理しており、肖像権・著作権を含む法的許諾やコンプライアンス体制も万全です。企業が安心して長期運用できる環境を提供し、今後は各企業専用のAIタレント開発やカスタマイズにも対応してまいります。

これらの運用により、動画広告が「作って終わり」ではなく、「改善して進化する運用資産」へと変わることで、CTR⁷やCVR⁸の最大化を広告主自らが主導できるようになります。

³ 出典：「2024年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析」

⁴ Publift ["93 Essential In-App Advertising Statistics to Know in 2025"](#)

⁵ 出典：MARKETING ESSENTIALS LAB ["The Three Second Social Media Rule"](#)

⁶ 当社試算：従来の30秒動画制作（12時間／約12万円）と、AvaMoによる動画生成（15分／約2,400円）を比較（2025年4月時点）

⁷ CTR（Click Through Rate）：の略で、広告がユーザーに表示された回数のうち、クリックされた回数の割合を示す。

⁸ CVR（Conversion Rate）：広告をクリックしたユーザーのうち、商品購入や資料請求などの「成果（コンバージョン）」に至った割合を示す指標。

AvaMo できること

複数パターンを同時生成 一括生成してSNSに即適用 効果の良いパターンのみ再配信

従来広告との比較

課題	AvaMo	従来広告
繰り返しコスト	数分で差し替え生成	数十万円～＋日程調整必要
編集負荷	UI操作で完結	編集スタジオが必要
社内運用のしやすさ	広報・営業部も運用可能	制作会社に外注前提

主なポイント

- ・ 台本変更によるパターン動画の大量生成（数十～数百パターン）
- ・ 通常のA/Bテストに止まらない数十パターンのクリエイティブ生成と即日配信
- ・ 高CVR動画の「勝ちパターン」の検証が可能

■ 「AvaMo」 AIタレント運用型広告プラン概要

- ・ サービス提供開始日：2025年7月10日（木）
- ・ 料金体系：広告出稿費＋「AvaMo」利用料＋広告運用手数料
- ・ サービスサイト：<https://vectorinc.co.jp/groupservice/avamo>

動画クリエイティブ制作から広告運用・効果測定までトータルサポート

新プラン「AIタレント運用型広告」では、「AvaMo」での動画生成のみならず、広告運用・効果測定においても専門性の高いチームがプロジェクトをサポートします。

効果測定においては、広告管理画面を活用したKPIの可視化や、Webサイト上の行動データをもとにしたCVR・離脱率改善、さらにROAS⁹およびLTV¹⁰を踏まえた収益性評価まで対応可能です。さらに、「AvaMo」ではダイレクト訴求型の短尺動画からブランド訴求型の表現まで、目的に応じた最適なクリエイターをアサイン。広告運用のパフォーマンスを分析し、最適な動画を生成いたします。動画クリエイティブと広告運用の両軸から、成果の最大化に向けて支援いたします。

ベクトルグループは今後も、「AvaMo」をはじめとした革新的なサービスを展開し、デジタル広告の可能性を広げ、企業のマーケティング活動を支援してまいります。

⁹ ROAS (Return on Advertising Spend)：広告費に対して得られた売上の割合を示す指標。広告効果の費用対効果を評価するために用いられ、数値が高いほど効率的な広告とされる。

¹⁰ LTV (Life Time Value)：一人の顧客が、サービスや商品を利用する期間中に企業にもたらす利益の総額を表す指標。顧客の長期的な価値を可視化するために用いられる。

【株式会社オフショアカンパニー 会社概要】

会社名 : 株式会社 オフショアカンパニー
住所 : 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 17F
設立 : 2024 年 3 月
代表者 : 代表取締役 野呂 健太
URL : <https://vectorinc.co.jp/group/offshore-company>

【株式会社ベクトル 会社概要】

会社名 : 株式会社ベクトル
住所 : 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 18F
設立 : 1993 年 3 月 30 日
代表者 : 西江 肇司
資本金 : 3,038 百万円 (2024 年 2 月現在)
事業内容 : PR 事業、プレスリリース配信事業、ダイレクトマーケティング事業、メディア事業、
HRTech 事業、デジタルマーケティング事業、インベストメントベンチャー事業
URL : <http://www.vectorinc.co.jp/>